

2025年度 公益社団法人 日本技術士会東北本部秋田県支部 第4回CPD 講演会（建設系CPD協議会相互認証事業）

主催：公益社団法人 日本技術士会東北本部秋田県支部

2025年度の第4回CPDは、技術士会秋田県支部会員2名による技術発表「講演会」を開催します。何れの講演も大変興味深い内容となっておりますので、皆様、奮っての御参加をお待ちしております。

記

1. 講演内容および講師

講演①：「GAP（農業生産工程管理）って何？」

講 師：大潟村役場産業振興課 農業アドバイザー 松橋 秀男 氏 技術士（農業部門）

概 要：みなさん、「GAP」をご存じでしょうか。ファッショングランドの GAP を思い浮かべる方もいるかもしれません。ここでご紹介する GAP は、Good Agricultural Practices（良い農業の取り組み）の略で、業界では「農業生産工程管理」と呼ばれています。

GAP は、農業生産の各工程について、実施・記録・点検・評価を行い、継続的に改善していく取り組みです。これにより、食品の安全性向上、環境保全、労働安全の確保に寄与するとともに、農業経営の改善や効率化にもつながります。秋田県では現在、23 農場が JGAP、1 農場が ASIAGAP を取得しています。

GAP は、農産物の生産現場はもちろん、食品の製造・販売、そして消費の現場にも着実に広がっています。農業生産に携わる方はもちろん、消費者のみなさんも、ぜひ関心を寄せてみてください。

講演②：「田沢湖とクニマスから学ぶ秋田県の水産資源」

講 師：株式会社 自然科学調査事務所 千葉 俊成 氏 技術士（農業／水産部門）

概 要：田沢湖にはかつて、クニマスという魚が生息していました。クニマスは田沢湖の固有種でしたが、戦時体制下の 1940（昭和 15）年、農業用水の確保と電源開発のために玉川の酸性水を田沢湖へ導入したことにより、絶滅に至りました。

その後、2010（平成 22）年に山梨県の西湖で発見され、現在は田沢湖畔に建設された「仙北市田沢湖クニマス未来館」で、西湖から“里帰り”したクニマスを見学できます。

果たして、クニマスは再び田沢湖で生息できるのか——。田沢湖とクニマスの歴史を通じて、秋田県の水産資源と水域環境の現状等についてご紹介します。

2. 日時およびスケジュール

2026年1月23日（金）

受付：14:30～15:00

講演①：15:00～16:00

講演②：16:00～17:00

(新年会：17:10～19:10)

講演会終了後に新年会（懇親会）を開催します。ご希望の方はどなたでも御参加頂けます。

3. 開催場所

パーティーギャラリーイヤタカ

秋田市中通 6-1-13 TEL: 018-835-1188

4. 申込み先

※日本技術士会秋田県支部のホームページ (<https://ipej-akita.jp>) から申込みフォームでお申込みください。

※申込み期限 2026年1月20日(火) 定員80名で申込み締切となります。

5. 参加費

講演会：会員・会友および協賛団体職員 1,000円

その他の方 2,000円

懇親会： 7,000円

6. CPD 参加票

本講演会は、建設系 CPD 協議会加盟学協会から相互認証された事業であり、CPD 参加票 (CPD 時間 2.0) を発行いたします。

7. 問い合わせ先

公益社団法人 日本技術士会東北本部秋田県支部 第4回 CPD 事務局

〒 014-0041 秋田県大仙市大曲丸子町 2-13

東邦技術株式会社 担当 佐々木 誉

TEL : 0187-62-3511

FAX : 0187-62-3587

E-mail : cpd-sanka@ipej-akita.jp

8. 新年会のキャンセルについて

新年会に参加を申し込みされた方でキャンセルされる場合は、前日の正午までに事務局の方にご連絡ください。これ以降のキャンセルについては会費のご負担をお願いいたします。